

韓・日学術交流会 会長挨拶文

時代の変化を主導している第4次産業革命は、税務士だけでなく、すべての専門資格士にとって深い関心事だと言うことができます。

昨年から釜山地方税務士会では第4次産業革命の時代に備えた生き残り戦略のために、研究サービス・特別教育等を実施しています。

今後、近畿税理士会との第4次産業革命に関する意見を交わす機会があるだろうと考えています。

去る9月、モンゴルAOTCA会議で、浅田恒博会長と小倉国際部長とお会いした時、親しい友人のように嬉しく思いました。

明日、浅田会長と役員の皆様が、私の事務所を訪問して下さる事は、個人的に非常に光栄に思っております。

大切なお客様を迎える為に、職員が綺麗に清掃もし、おいしいお茶も準備し、小さいプレゼントも準備して..... 皆が嬉しい気持ちでいっぱいです。

重要な来賓が来られるからです！

最後に浅田会長と役員の皆様、そして事務局職員全員が、今日と明日、釜山の晩秋の風情をたっぷり感じていただき、良い思い出を大事にしたまま、帰られるよう祈っております。ありがとうございます！

2018. 11. 23

釜山地方税務士会 会長 姜政淳

**近畿税理士会・釜山地方税務士会
「第14回 学術交流会」(2018.11.23)**
近畿税理士会会长 浅田恒博あいさつ

アンニヨン ハシムニカ。 (こんにちは)

近畿税理士会会长の浅田恒博でございます。

カン ジョン スン

本日は、姜政淳会長様はじめ釜山地方税務士会の役員の皆様方と、この釜山の地で再会できることを大変楽しみにしておりました。

また、釜山地方税務士会の役員の皆様方には、第14回学術交流会の開催に当たり、その準備に格別なるご尽力を賜りましたことを、心より感謝申し上げます。

貴会と当会は実質的な交流を深めるため、2005年11月から毎年、学術討論会を開催し、充実した親善関係を築くとともに、大きな成果を上げてまいりました。

昨年度より、討論会から交流会に方式を変えさせていただきましたが、本日の学術交流会が両会の相互理解と友好をさらに深める有意義なものとなりますことを、心から念願しております。

カン

明日は、姜会長様の事務所を訪問させていただき、インボイスの実務を拝見させていただくこととなっております。日本においても、2023年10月からインボイス方式が導入される予定であり、大変貴重な経験になることと喜んでおります。

また、急速に進展するAIやIoTなどの技術革新は、税理士、税務士の業務に密接に関連するものであり、今後、貴会とも意見交換できればと考えています。

来年の10月には、AOTCA総会が釜山で開催されることになりました。貴会には大変お世話になりますが、ご成功をお祈りしております。

カン

結びにあたり、貴会のますますのご発展と、姜会長様並びに役員皆様のご健康とご隆盛を心からお祈り申し上げて、ご挨拶といたします。

カムサハムニダ。 (感謝いたします。)

2018年11月23日

近畿税理士会
会長 浅田恒博